

自分たちで創る 藤原中学校 ～道標～

藤原中学生徒総会の新執行部から「藤中生がお互いを導く手本となり、自分たちで学校を創り、良い藤中にしたい」という思いをもとに、次の5つの方針が提案されました。

- ・方針1「今一度見つめ直そう仲間の心～そして真実の絆を～」
- ・方針2「日々進化・継続する授業」
- ・方針3「今、自分にできること」
- ・方針4「藤中クリーン作戦」
- ・方針5「スマイルFamily ～笑顔の中には地域の信頼～」

これらは、それぞれが今の藤原中学校の課題を解決するために生徒自身が考えたものです。自分たちの本音や気持ちを伝え合う中で本当のつながりができると感じ、誰もが安心して気持ちよく通える学校を創ろうとしています。具体的な行動はこれからです。自分たちから変わろうとしている生徒の姿にご期待ください。



環境パピルス委員会の「古代パピルス紙の絵付け」



図書委員会の「紙芝居」

地域の方へのご恩返し ～いなべ市藤原町文化祭参加～

地域の方に支えていただいていることに何かお返しはできないかと考え、『いなべ市藤原町文化祭』に今年も参加させていただきました。環境パピルス委員会が『古代パピルス紙の絵付け』、図書委員会が『紙芝居』、園芸部が『鉢植え販売』と、それぞれ自分たちの活動を地域の方に伝えようと頑張る姿がありました。参加は半日だけでしたが、多くの方に来ていただき、大変よろこんでいました。これからも様々な形で、地域の方と活動をともに行っていきたいと考えていますので、ご協力をお願いします。

いなべ市立 白瀬小学校

「地域の人・もの(文化)・自然」から学ぶ しろせっ子!

1・2年生 なかよし活動 ～地域とともにすすめる農園活動を中心に～

なかよし活動も今年で7年目に入りました。ナス、キュウリ、ピーマン、トマト、スイカ、プリンスメロン、カボチャ、ゴーヤ、サツマイモ、トウモロコシ、ニンジン、サトイモ等あらゆる野菜づくりに取り組んでいます。子どもたちと参加いただいている保護者や地域の方とともに育て、収穫する喜びを味わっています。採れたての野菜を大勢で食べていると、野菜嫌いの子どもも知らず知らずにおいしさに引き込まれています。



3・4年生 ふるさと再発見 ～白瀬の自然と炭焼き～

昨年、炭焼き名人の藤田さんから教わったことを、4年生が3年生に伝えることから炭焼きの活動が始まりました。山の木を切り出し、炭にし、それを燃料などに使うことができることを学び、生活と自然の関わりを炭焼き活動から知りました。そして、今年の3、4年生は植物に詳しい葛山先生とともに地域の自然調べを行っています。ヨモギ、チガヤなどはふだん目にしていますが、注意しないと見る機会の少ない草木です。それらが

私たちの生活とどう関わっているのかななどを採集しながら教えていただいています。

また、山口地区で26年間続いている伝統の山口太鼓にもみんなでチャレンジしています。

5・6年生 考えよう、やってみよう、私にできること

今年度は2つの翠明院、本郷の昼食会、そしてふじわら作業所の4カ所にボランティアとして訪問してもらっています。どんなお話をすると会話が弾むのか、どんなゲームや歌が楽しんでもらえるのか考えながら、みなさんの笑顔を楽しみにして計画して活動しています。

また、いなべ市社会福祉協議会の藤本さんから手話を教えていただきました。学習発表会「しろせっ子広場」では、体験したことを中心に学んだことを保護者や地域の方に発表しています。

